

神経内科・脳卒中センターを受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	急性期 Branch Atheromatous Disease の麻痺抑制に対する抗血小板薬の Loading の有用性の検討
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(所属) 神経内科 (職名) 医員助教 (氏名) 木村元哉
研究の対象となる方	2014年4月から2024年7月までに急性期脳梗塞と診断された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2029年8月31日
研究目的及び利用方法	<p>[研究目的]</p> <p>本研究の目的は、急性期脳梗塞患者さんに対する抗血小板薬の投与量に応じた麻痺の悪化率及び出血合併症の発生率を比較・検討することによって、急性期脳梗塞患者さんにとって最適な抗血栓治療を解明することです。</p> <p>[利用方法]</p> <p>抗血小板薬の初期投与量に応じた麻痺の悪化率及び出血合併症の発生率を比較・検討します。</p> <p>[外部への試料・情報の提供]</p> <p>非該当</p> <p>[外部への提供開始日]</p> <p>非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	<p>試料：非該当</p> <p>情報：電子カルテ上の診療録から、年齢、性別、血液検査結果、生理学的検査結果、画像検査結果、治療内容、転帰等を抽出します。</p>
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2027年3月31日までに電話等により下記問い合わせ先まで申し出てください。
外国への試料・情報	非該当

の提供	
問い合わせ先	愛知医科大学病院 神経内科 担当者：(職名) 医員助教 (氏名) 木村元哉 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 23511)